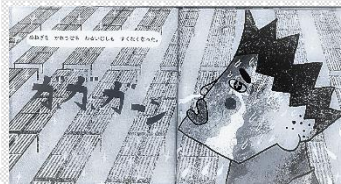


# 笑顔創造

Smile creation

第11号



「めねぎのうえんのか・ガク・ガク」より：合同出版

発行日 2023年11月1日  
発行元 京丸園株式会社  
代表取締役 鈴木厚志  
〒435-0022  
静岡県浜松市南区鶴見町 380-1  
E-mail kyomaru@ck.tnc.ne.jp  
URL <https://www.kyomaru.net>

## 京丸園の歩み

10月1日京丸園株式会社第20期がスタートしました。京丸園という屋号が付いたのは今から70年前になります。遠州七不思議の物語のひとつ「京丸ぼたん」という60年に一度咲く幻の花のお話からいただいた名前です。

当時は、バラを栽培していましたが1973年浜松で一番最初に水耕みつばを開始したのが父になり水耕栽培導入して50年になります。

1954年	啓之 就農 施設園芸開始
	屋号「京丸園」命名 バラ生産
1973年	『京丸みつば』水耕栽培開始
1978年	『姫みつば』栽培開始
1984年	厚志・緑 就農
1994年	『姫ねぎ』栽培開始
2004年	京丸園株式会社設立
	『姫ちんげん・ラーメンちんげん』
	現：ミニちんげん栽培開始
2019年	日本農業賞 大賞受賞
	農林水産祭 天皇杯受賞
2023年	義隆 専務取締役就任

日本一の日射量、豊富な水源、大都市圏の中間に位置する浜松の地の利を活かした施設園芸・水耕栽培技術によって野菜生産を継続することができました。

振り返ればオイルショック、バブル崩壊、リーマンショック、台風・震災、コロナ禍と数々の試練がありながらもこうして生き残りお蔭様で経営を拡大させることが出来たことに感謝しかありません。

水耕栽培を始めたころは、家族経営で休みもなく夜中まで作業をしている農園でした。作業をしながら「新しいハウスが建てられたらいいな。もう少し広い作業場や便利な機械があったらいいな。一緒に働く仲間がいたら楽しいだろうな。」と、思いを巡らしていました。

小さな夢がひとつ、またひとつと叶っていき水耕栽培施設は1.3haとなり京丸姫シリーズ「姫ねぎ・姫みつば・ミニちんげん」をJAとびあ浜松、静岡県経済連を通じて全国44市場に出荷させていただき農園には102名の老若男女が集まりました。30年後、「京丸園100年祭」を開催してもらえたら嬉しいです。

## どんな仲間と歩むのか？

姫ねぎはスタート時、浜松の市場でしか販売していませんでした。生産量も増えてきたので東京で販売してもらいたいとJAさんに相談に行きました。当時、姫ねぎは「何これ？」と言われるくらい誰も知らない野菜で担当職員さんも半信半疑といった感じでしたが一緒に市場をまわって下さいました。

ある市場に営業に伺った時、見たことない商品に興味を持ってもらえず誰も私の話を聞いてくれませんでした。私は、仕方がないと諦めて帰ろうとしたときJAの職員さんが大きな声で「生産者が浜松から来たんです！話を聞いて貰えませんか。お願いします。」と、頭を下げたのです。

市場の方々もビックリしたと思いますが一番ビックリしたのは私です。忙しい中、売れるかどうかわからない商品のために東京まで足を運んでくれて大勢の前で私がしなくてはいけないし仕事を代わって頭まで下げてくれたのです。生産者を応援しようという心意気を強く感じた一瞬でした。

その時、こんな熱く応援してくれる仲間と一緒に仕事ができたら楽しいだろうなと思い自分たちの生産する野菜を全量、JA・経済連を經由し市場販売させてもらおうと決めました。仕事を通じて切磋琢磨できる仲間と出会う楽しみを見つけることが出来ました。これからも共に磨きあって成長する仲間達と歩んでいきます。

### ～ 今月の活動 ～

11月3・4日 静岡経営塾  
11月6日 静岡県西部農林事務所  
11月7日 ひろしま農業経営者大学校  
11月9日 沖縄県 農福連携  
11月10日 ふくおか農業トップランナー育成  
11月15日 宮崎県 農福連携  
11月24日 浜松市ユニバーサル農業研究会 オランダ報告  
11月30日 静岡県西部農業経営士花き部会  
◎参加できます！  
11月7日金曜日 浜松建設的な生き方を学ぶ会  
19:00～21:00 開催場所：京丸園  
オリジン・コーポレーション 杉井保之氏をお招きしての勉強会です。参加費1,000円 事前連絡をお願いします。

今月のことば

何のために働くのか？

どんな農園を作るのか？

どんな仲間と歩むのか？

問い続ける